

平成25年度第1四半期における運用状況等

(平成25年4月～6月)

独立行政法人農業者年金基金は、年金資産の安全かつ効率的な運用を行っており、法令に基づき策定しました「独立行政法人農業者年金基金中期計画」において、四半期ごとに運用に関する情報を、本資料をもってホームページで公表することとしております。

なお、毎年6月末日までに被保険者等の皆様に送付させていただいております「運用（付利）結果のお知らせ」の基礎となります前年度の運用成績につきましては、毎年度の末日における運用収入の額が基準となります。

当基金が行っています年金資産の運用については、金融・経済情勢等の運用環境の影響により、短期的には、運用成績がプラスになる年やマイナスになる年がありますが、長期的な運用により安定した運用収益を上げることが期待されます。

今後とも、安全かつ効率的な運用を徹底して参りたいと思っておりますので、皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

【参考】

独立行政法人農業者年金基金中期計画（平成25年3月29日認可）－抜粋－

2 年金資産の安全かつ効率的な運用

(4) 年金資産の構成割合、運用成績等については、四半期ごとにホームページで情報を公表するとともに、加入者に対して、毎年6月末日までにその前年度末現在で評価した個々の加入者に係る運用結果を通知する。

目 次

	頁
1. 平成25年度第1四半期（平成25年4月～6月）における運用環境について	1
2. 平成25年度第1四半期（平成25年4月～6月）におけるポートフォリオ別の運用状況 . . .	2
3. ベンチマーク・インデックスの推移	4
（参考） 用語の説明	5

1. 平成25年度第1四半期（平成25年4月～6月）における運用環境について

（4月）

国内株式は、4日に発表された日銀の「量的・質的金融緩和政策」を受けて大幅に上昇しました。外国株式は、連邦準備制度理事会（FRB）が金融緩和を継続するとの期待等から小幅に上昇しました。債券市場は、10年国債利回りは日銀の「量的・質的金融緩和政策」を受けて一時史上最低の0.315%まで低下しましたが、月末は0.61%となりました。米国10年国債利回りは1.67%となりました。為替は、対ドルで97円41銭、対ユーロで128円42銭まで大幅に円安が進みました。

（5月）

国内外株式は、米雇用統計の改善を受けて世界的な株高が進行し、特に国内株式は一段の円安を受けて下旬にかけて大幅に上昇しました。その後は、バーナンキFRB議長の議会証言を受けた量的緩和第3弾（QE3）の早期縮小観測等を背景に軟調に転じ、外国株式は月間で上昇したものの、国内株式は月末にかけて大幅に下落しました。債券市場は、不安定な相場環境が継続し10年国債利回りは前月比で0.87%に大幅に上昇しました。米国10年国債利回りはQE3の早期縮小観測等を背景に前月比で大幅に上昇し2.13%となりました。為替は、欧米の金利上昇等を背景に円安基調が継続し、月末は対ドルで100円98銭、対ユーロで130円86銭となりました。

（6月）

国内株式は、安倍首相が表明した成長戦略第3弾が具体性に欠けるとの見方や日銀が追加緩和を見送り円高が進行したこと等を背景に、日々乱高下しながら底値をさぐる展開となりました。外国株式は、バーナンキFRB議長が資産買入れペースの年内縮小を示唆したこと等により月間で下落しました。債券市場は、10年国債利回りは株価の軟調等を背景に概ね0.8%台で推移し月末は0.85%となりました。米国10年国債利回りはQE3の年内縮小観測等を背景に、月末は2.49%と大幅に上昇しました。為替は、対ドルで93円台まで円高が進行した後は、欧米金利の大幅上昇等を受けて月末にかけて円安の展開となり、月末は対ドルで99円34銭、対ユーロで129円12銭となりました。

2. 平成25年度第1四半期(平成25年4月～6月)におけるポートフォリオ別の運用状況

① 被保険者ポートフォリオ

平成25年度第1四半期(平成25年4月～6月)における被保険者及び待期者に係る資産の運用状況は、次表のとおり、平成25年6月末の時価総額は1,830億55百万円となり、第1四半期の総合収益は39億47百万円となりました。また、修正総合利回りは2.19%となりました。

(単位:百万円、%)

資 産	平成24年度末 時価総額	平成25年6月末 時価総額	時価総額構成割合	第1四半期 総合収益	(参考) 修正総合利回り
国内債券	115,338	115,666	63.2	-744	-0.64
自家運用	56,863	57,148	31.2	186	0.33
外部運用	58,476	58,517	32.0	-931	-1.58
国内株式	27,698	30,072	16.4	2,678	9.67
外国債券	8,708	8,651	4.7	362	4.27
外国株式	26,893	28,209	15.4	1,651	6.14
短期資産	1,623	458	0.2	0	—
合 計	180,260	183,055	100.0	3,947	2.19

- (注)
1. 国内債券のうち自家運用(満期保有分)については、償却原価法を適用しています。
 2. 平成25年6月末時価総額は、平成24年度末時価総額180,260百万円に、第1四半期の追加投資額等-1,153百万円及び総合収益3,947百万円を加算した額183,055百万円(合計)となりました。
 3. 短期資産の修正総合利回りの数値は、自家運用分については0.014%となりますが、外部運用分については保管手数料等を含めているため、表示していません。なお、保管手数料等を整理する前の外部運用分の利回りは0.035%となります。
 4. 単位未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります(以下同じ)。

② 受給権者ポートフォリオ

平成25年度第1四半期(平成25年4月～6月)における受給権者に係る資産状況は、次表のとおりとなっており、年金給付等の原資は確保されています。

(単位:百万円)

資 産	平成24年度末 時価総額	平成25年6月末 時価総額
国内債券	19,519	20,324
短期資産	76	608
合 計	19,595	20,932

③ 被保険者危険準備金ポートフォリオ及び受給権者危険準備金ポートフォリオ

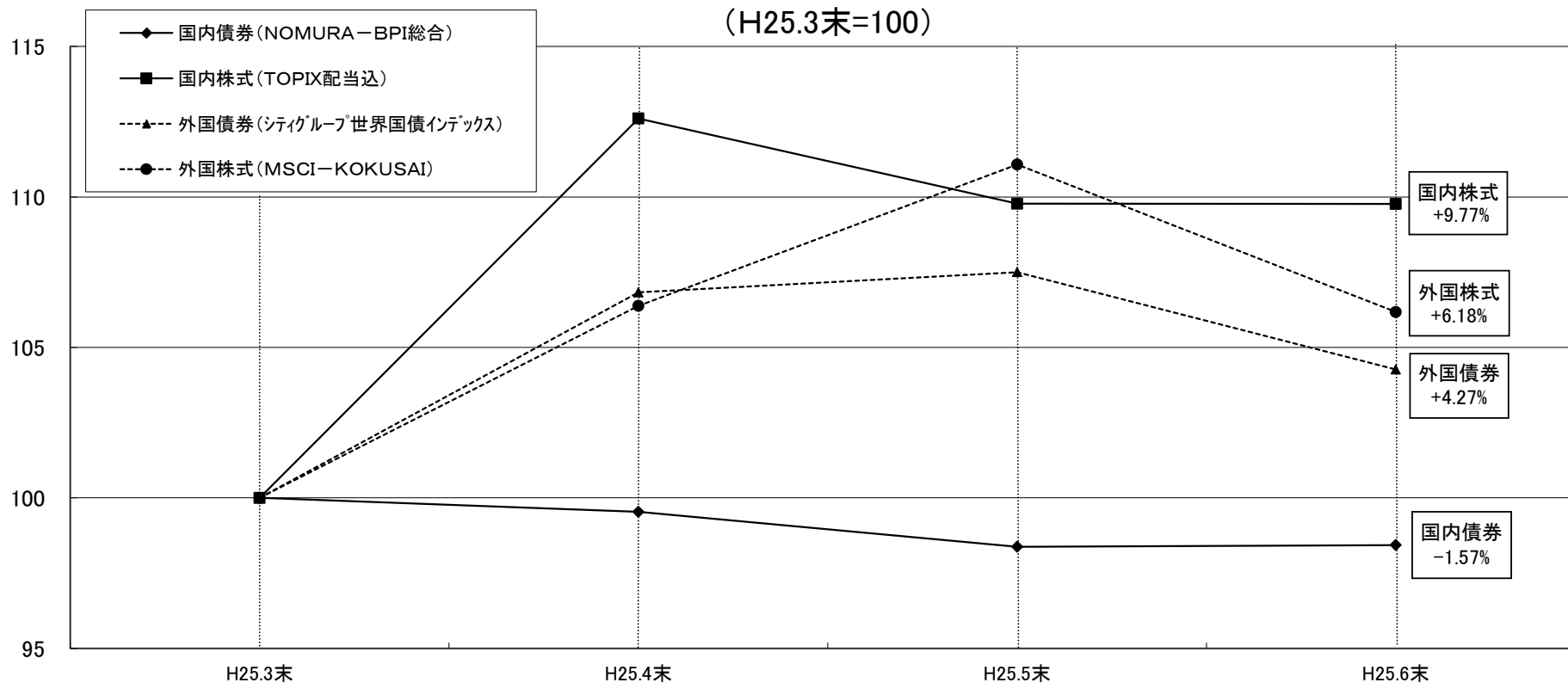
平成25年度第1四半期(平成25年4月～6月)における危険準備金に係る資産状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:百万円)

ポートフォリオ	区 分	資 産	平成24年度末 時価総額	平成25年6月末 時価総額
被保険者危険準備金 ポートフォリオ	付利準備金	短期資産	1,334	2,726
	調整準備金	短期資産	998	1,675
	合 計		2,333	4,401
受給権者危険準備金 ポートフォリオ	調整準備金	短期資産	967	1,016

3. ベンチマーク・インデックスの推移

(H25.3末=100)



○運用環境

	平成25年3月末	平成25年4月末	平成25年5月末	平成25年6月末
国内債券(新発10年国債利回り)	0.560 %	0.605 %	0.865 %	0.845 %
(NOMURA-BPI総合)	350.764 ポイント	349.141 ポイント	345.057 ポイント	345.262 ポイント
国内株式(日経225)	12,397.91 円	13,860.86 円	13,774.54 円	13,677.32 円
(TOPIX配当込)	1,373.53 ポイント	1,546.69 ポイント	1,507.80 ポイント	1,507.70 ポイント
外国債券(米国10年国債利回り)	1.850 %	1.673 %	2.129 %	2.487 %
(独10年国債利回り)	1.289 %	1.216 %	1.505 %	1.728 %
(シテグループ世界国債インデックス)	359.29 ポイント	383.82 ポイント	386.24 ポイント	374.62 ポイント
外国株式(NYダウ)	14,578.54 ドル	14,839.80 ドル	15,115.57 ドル	14,909.60 ドル
(独DAX指数)	7,795.31 ポイント	7,913.71 ポイント	8,348.84 ポイント	7,959.22 ポイント
(MSCI-KOKUSAI)	1,567.388 ポイント	1,667.423 ポイント	1,740.994 ポイント	1,664.236 ポイント
為替レート(対ドル)	94.02 円	97.41 円	100.98 円	99.34 円
(対ユーロ)	120.73 円	128.42 円	130.86 円	129.12 円

用語の説明

○ ポートフォリオ

資産を運用する際の保有資産の組合せのこと。また、組み合わされた運用資産全体を指すこともある(同義語 ファンド)。

○ 総合収益

利息、配当金や売買損益といった実現損益だけではなく、評価損益や未収収益を加味した収益のこと。

○ 修正総合利回り

総合収益を、運用元本に時価の概念を加味した残高で割って算出した収益率のこと。運用成績の開示に広く用いられている。

修正総合利回り = (総合収益) ÷ (運用元本平均残高 + 前期末評価損益 + 前期末未収収益)

○ ベンチマーク・インデックス

各資産の収益率を評価する基準となる指標のこと。

以下は、被保険者ポートフォリオにおけるそれぞれの資産のベンチマーク・インデックスとして、当基金が採用しているものである。

* NOMURA-BPI総合

野村証券金融工学研究センターが作成している国内債券市場の指標。国内で発行された残存1年以上の固定利付円建債(A格相当以上)から構成される。国内債券市場の代表的な指標である。

* TOPIX(配当込)

東京証券取引所が作成している国内株式市場の指標。東証一部全上場銘柄から構成される。国内株式市場の代表的な指標である。

* シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし、円ベース)

シティグループ・グローバル・マーケット・インクが作成している外国債券市場の指標。主要各国(除く日本)が発行する国債から構成される。外国債券市場の代表的な指標である。

* MSCI-KOKUSAI(源泉税控除前、配当再投資、円換算)

MSCI Incが作成している外国株式市場の指標。主要各国(除く日本)の証券取引所上場銘柄から構成される。外国株式市場の代表的な指標である。